



1月11日 東地申33号

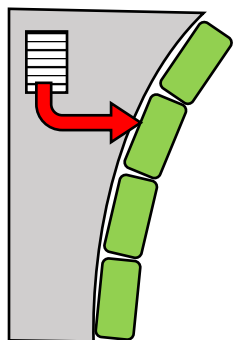
「2021年度営業関係施策(その2)」についての申し入れ【渋谷駅】

恵比寿

を行う!

渋谷駅では、2022年3月1日より山手線外回りホームに立ち番用ITVを設置することで、外回り2名立ちを1名立ち（後ろ立ちのみ）に変更することが示されています。現場では、多くの不安の声が出ています。

**先頭車両付近では、
ハチ公口階段からの
駆け込みや転落の
発生頻度が高い!**



**うう、事務室に
トイレもない…。**

**今月も人がいなくて
応援を頼むしかない…**



**特に危険な箇所から社員を減らせば、
安全レベルの低下は避けられない!**

**現在も他パートからの応援に頼る体制であり
駅の特情や異常時対応の教育が不十分だ!**

<申し入れ内容>

1. 渋谷駅乗客パートにおいて、これまで行ってきた安全のレベルアップに対する取り組み、渋谷駅輸送業務に必要な知識、技能を有する社員育成について認識を明らかにすること。
2. 渋谷駅ホーム体制を見直す目的と考え方について明らかにすること。
3. 2019年度、渋谷駅1番線ホームにおいて発生した列車非常停止警報装置の取扱い件数、お客さまが列車とホームの間に挟まった件数、お客さまが線路内に転落した件数、荷物がドアに挟まり対応した件数を明らかにすること。また、各件数が施策実施後に低下する考え方と理由を明らかにすること。
4. 出札、改札からの応援を取りやめ、乗客パート単体で運用できる要員の確保を行い、渋谷駅輸送業務に必要な知識、技能を有する社員育成を計画的に行なえる体制を構築すること。
5. 渋谷駅1番線ホームにおいて、安全を確認するために必要な設備を整えること。また、社員がゆとりを持って働ける環境を整備する観点から、渋谷駅ホーム事務室に水道設備とトイレを設置すること。

労使で認識を合わせなければ良い施策とはならない!

地本は現場で働く仲間と共に、団体交渉に臨みます!